

No. 33

1995

12月1日発行

萩の郷

発 行 者
下 市 田 区
発行責任者
富 田 隆 仁
印 刷
下市田・キタバヤシ印刷



敬 老 会



舞台発表（民踊）

文化祭り・敬老会



手芸作品



絵と陶芸作品

充実した内容だった
文化祭り・敬老会

恒例の下市田区文化祭りと敬老会が区と公民館共催で、去る十月十四日(土)・十五日(日)に公民館において開催されました。

展示発表は、盆栽・書・陶芸・絵画・手芸・出版物・生花等が多数出品されました。また敬老会と併せて茶道部の接待があり、舞台発表は、大正琴・民謡・民謡・カラオケ等盛大に発表されました。それぞれの発表を拝見して、こんなにも多くの集いがあって、その道に励み楽しみながら連帯を深め、囲りにも喜びを与えていくくださることに感動と感謝の念を覚えました。

敬老会には七十歳以上の方々五百五十八名を招待しました。この内、九十歳(卒寿)以上三十名、八十八歳(米寿)十名、七十七歳(喜寿)三十三名の方々は記念品を差し上げました。お楽しみコーナーは一日目の午後ウォークラリーを行いました。下市田区内の旧道を、下市田区にちなんだクイズに答えながら一周(4.3km)しました。下市田区に住んでいても知らない所も多く、新たな発見があったようです。

公民館改築に向けて進行している現在、思い出多いこの建物で最後の行事になるかと思うと感慨一入です。

下市田区三役 任期満了改選

区三役の任期が、十月末で終了するので、選挙管理委員会では、十月十九日までに、立候補者及び適任者の推薦の告示をしました。

十月二十五日に、全区民による信任投票を行い、新三役が決定しました。

下市田区三役改選結果

下市田区長 富田 隆 仁 九八九票
下市田副区長 仲平 眞 司 九八三票
下市田区会計 壬生 俊 幸 九九一票



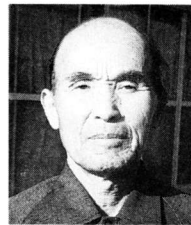
区長 富田 隆 仁

師走を迎え、何かとお忙しい事と推察致します。

今年は大変な年でありました。兵庫県の大地震を始め、オウム真理教にみる残酷非道の事件等、戦後五十年の節目の年に当たり深く反省をさせられます。

この度、区三役改選に当たり区長として推薦指名をうけ、浅学未熟である事を充分承知の上でお引受け致しました。

下井前区長さんの御苦労に心より感謝を申し上げ、また、御指導頂きました事等々を守りながら努力して



副区長 仲平 眞 司

参りたいとおもいます。また副区長在任中は皆様方の御指導を頂き厚くお礼申し上げます。今後一層のご協力を心よりお願い致します。の挨拶といたします。

今回の区三役改選に当たり、思いもかけぬ副区長に選任され、もとより浅学無力な者ではありますが、職責を大切に誠意と努力を重ね、厳正なる運営を計って参りたいと思います。宜しく御指導御鞭撻をお願いします。

前期区会計在任中は大変お世話になりました。著し



会計 壬生 俊 幸

い経済の変動、金利の極端な低下等の影響を受けて、区の財政も厳しい運営を余儀なくされ、区民皆様には尠からぬご不満もあったかと存じますが、深いご理解とお力添えを賜り、任務を全うさせて頂き厚く御礼申し上げます。

今回の下市田区三役の改選につきまして、全く予想もしていなかった会計の役に選任され苦渋と困惑している次第です。どうして私の様な未熟者がこの大役を仰せつかったのか不思議でなりません。

現在景気不透明な厳しい状況下にあり明るさが見えて来ません。区内でも数々の大型事業が予定されている中で、最大の効果が得られる様大役を担当させて頂きますが、幸い正副区長さんは経験豊かでありますので大変気を強くしているところとです。今後とも区の委員各位を始め区民の皆さんによりしくお願いして挨拶とします。

萩山神社宝刀審議委員会の報告

平成五年六月に下市田区から六名が委嘱を受けて、委員会が発足して二年間を費し、区や神社に關係した多くの方々、町県及び警察や弁護士等、各機關の人々から多大の協力を頂いて今日に至った。

今迄に二度にわたって、区長さんに調査の経過や内容等文書で中間報告をしてきました。調査した内容は非常に分厚いものになるの

退任のごあいさつ

前区長 下井 武平

昭和六十年十月、全く予期せざる区長に選任されて以来五期十年、この間六地藏土地の裁判、広域農道、下水道処理場、公民館改築の研究等重大な事業がありました。この度大過なく退任できますことは、関係各位並びに区民各位の御支援御協力の賜と深く感謝申し上げます。心より御礼申し上げます。

終わりに、下市田区の益々の発展と、区民皆様の御健康と御繁栄を祈念して退任の御挨拶といたします。

で、割愛して問題の大筋を記します。

萩山神社には社宝として二本の刀剣があり、昭和四十五年に萩山神社由緒録が発行され、各戸に配布されましたがそれに明記されておりました。昭和四十九年には御柱祭に併せて記念事業として、下市田区と萩山神社、公民館の主催で萩山神社宝物展並びに文化展が開かれ、一日ですが一般に広く公開されました。

「備前長船住人左近長光作裏 弘安三年八月吉日」
「備前長船住人則光作裏 文明二年八月吉日」
小川米太郎寄進の二振の刀です。

「長光作」弘安三年は年号から見て、初代長光の作にあたります。従って参考図書によれば、美術刀剣の評価からみても〇千万円と書かれており、一口に国宝級とも云われる名刀に類することも推定されます。

宝物展があつてから十年余を経て昭和六十二年に、下市田史談会の福島光三郎、小川光男の両氏が、林明総代長に申し出て宝刀二振を

見せてもらった折に、「則光」と無銘刀で「長光」が無いのに驚き、「これは変だ!」と神社側に申し出て以来、関係内部で調査して来たが解明出来ずにきた。平成五年五月に有志からの陳情で、今回の委員会の発足の契機となった。

先ず事実の調査からと、由緒録発刊の頃から宝物展及び刀の研磨と、その後の状況迄克明に記録と回想を重ね合せて丁寧に進めた。宝物展で参観した方から、「刀に曇りがあるから研磨した方がよい。」との提言があつて、昭和四十九年七月に氏子総代のK氏に一任して研磨に出した。九月の秋祭に砥上がつて総代会に披露されたが、その時には則光と無銘刀の二振であつた。無銘刀に気付いた伊谷

総代長の戸惑いと、その時の対応が記録簿や会計簿で明らかになった。研磨代八万円は、これでは払えないととり消して神社からは結局支払われておらず、「長光」については、「刀は暫らく手入れの為K氏に預ける」と記録に残されておき、早く「長光」の戻ることを期待していることが判明した。そのまま

下市田公民館（区民会館）の改築について ＝下市田公民館改築研究委員会＝

下市田区長 下井武平 殿

平成7年10月17日

答 申 書

下市田公民館改築研究委員会委員長 北原 洲 平

○前 文

(公民館の位置づけ)

1. 下市田区民全体の集合・集会等の区政の中心の場、社会福祉、区民のとりわけ幼高齢者の憩いの場、生涯学習等の公民館活動の中心的施設として、また緊急避難施設としての下市田公民館は、区民の大切な施設である。

(改築の必要性)

2. 数年来公民館活動の一環としての敬老会、カラオケ大会等の場合会場が狭く、入り切れないで外に立たざるを得ず、不愉快な思いをした場合もあった。また、グループ活動をするにも、間取りの関係上互いに隣の会合の邪魔になることがあったり、部屋数が不足して不都合な点もあった。緊急避難の場所の点からも問題点がある。

加えて、老朽化してアミ戸が外れたり、窓が閉まらなかったりして、暑い夏、寒い冬に困難したり、高齢者・身障者の方々への配慮にも欠けている。

○本 文

1. 公民館を改築する。

(1) 上記前文2.の理由による。(2) 区民大多数の声(アンケート)が改築の方向にある。

2. 資金の目安が立っている。

公民館改築基金として既に4千万円あり、今のうちなら、補助金とともに2億円程度までの出資が可能である。また、区民からの協力も期待できる(アンケート)。

3. 建築場所は現在の場所が適当である。

地所代、日照権の関係から現在地がよい。

4. 平面基本設計図は、案として適切である。(専門家等の検討の必要性は残っている。)

研究委員による他地区3施設の視察と区民の願い(アンケート)を勘案し、慎重審議して作成したものであり、予算、広さ、施設、間取り等適切と考えるが、我々研究委員は専門家ではないので、区民の願い等を勘案して、専門家に再検討してもらう必要がある。

5. 建築設計に当たり、さらに検討を要すると思われる問題点。

- ・駐車場がやや狭い。土地の購入または借地等も考えて、再検討する必要がある。
- ・高齢者・身障者の方々に対する設備的配慮について、検討する余地がある。

以 上

改築研究委員会の研究経過

本年二月に発足した改築研究委員会は、九ヶ月にわたり研究を重ね、その間区民の皆様方にも改築についてアンケートもお願いし、漸く所期の目的を達成する

ことが出来ました。他地域公民館施設の視察を出発点にして、小委員会八回、全体委員会四回を開催し、更に折にふれて作図部会と広報部会を夫々数回開き、鋭意研究を重ねて来ました。その研究結果から委員会としての思いと、区民皆様方のアンケート集計からの意向、要望を盛り込んで、平面基本計画図を完成し、十月十七日に下市田区長に対して、別掲の答申書を提出致しました。これからは、建設委員会にバトンタッチを致します。区民の皆様方には、いろいろな面での協力とご支援を頂き、誠に有難うございました。尚、アンケートの結果は、紙面の関係で別紙で報告させていただきます。

の状態で十年余を経て、六十二年に発見されて問題になる迄は、督促もせず何等の対応もなく、極く少数の人が心配しながら時間を経過してしまった。

研磨に出して以降が、K氏の想い出に頼るしかないもので解明出来ない。七月に研磨を一任されてその二振は自宅に於て、当時商工会指導員であった福沢章夫氏に再委託して預けた。福沢章夫氏は、それを飯田の大王路砥師の外松氏に依頼したという。然し飯田の外松氏は、数回の接触にもかかわらず、全く砥いでいないと否定している。刀剣鑑定

区の情勢について

区長 富田隆仁

区の情勢について簡単にお知らせ致します。下井前区長さんが任中に公民館改築の話がもち上がり、研究委員会(七十数名)にて慎重に審議されました。その結果改築する答申が出され、代議員会にて議決され、平成八年に建設する事になりました。建築費については建設の為の預金の範囲で行う様努力したいと思えます。次に区の財政上の理由から規程の見直しを致しました。

(荻山神社 宝刀審議委員会)

た。公定歩合の引下げからくる超低金利の時代となり、繰入金の大幅な減額となりました。審議会を設け研究を頂きその結果答申を受け代議員会に計り議決を頂きました。土地補償の区支出分、道水路改良工事の地元負担の区負担金の引下げを行いました。区財政へ健全化の為止むを得ぬ処置と考えております。

道路水路等は公共性が極めて高く、町と話し合いに依る政治的解決が求められています。以上で終わります。

下市田区 第13回 カラオケ大会

カラオケ大会に
参加して

塩沢美智子



嬉しいにつけ悲しいにつけず歌が出るほど歌の大好きな私ですが、カラオケとは縁がなくカラオケボックスに行つて歌ったことなど今までありませんでした。それが突然カラオケ大会に出ることとなり、常会長の岩井さん御夫妻にカラオケボックスに連れていって頂き、一時間半ほど思いき

下市田区、視聴覚部、教養部の合同による、第13回下市田区カラオケ大会が、去る九月二十三日(土)に、公民館に於いて行なわれました。各代表の方々の熱唱の他アトラクション等加わつて、盛大な会になりました。

カラオケ大賞

あざみの歌……塩沢美智子 六区

歌唱賞

城ヶ崎ブルース……松村清見 一区

努力賞

別れの予感……熊谷ひでみ 五区

熱演賞

これが本当のゴルフだ……上沼基広 水利委員

り歌いました。何か若がえつた気分でもとうきうきするひとときでした。そこで曲目を決め、一週間後にはカラオケ大会でした。

このカラオケ大会もなかなか熱気あふれるものでした。カラオケボックスで歌った為かマイクを持つ手も思ったほどふるえず、本当に良い経験をさせていただきました。

カラオケ大会に 参加して

松村清見

私がこの町に住んで十七年になりました。その間に

出砂原に住んでいた時もこの大会に一度参加させて頂きました。この大会も一区からの出場者も選出がな



なか決まらないという事で常会単位の選出になり私が参加しました。

この事業も継続する事には大変意義がありますが、今後は今以上に参加者の選択がむずかしそうな感じを受けます。又、参加して感じ

た事と言えは、出場する方のそれぞれの個性が生きた大会であつたと思います。他には応援や見に来る人が少ないと思います。場所の事もありますが今後の課題

だと思ひます。尚この事業が今後さらに

発展することを期待しております。

カラオケ大会に 参加して

熊谷ひでみ



高森町に住まわせて頂く様になって、二年目になる若葉マークの私が、なんと大胆不敵にも、カラオケ大会に出させて頂いてしまいました。(なんて怖いものしらずなんでしょう!!)

当初、参加するかしないか迷っていた時は、『下市田区だけの事なんだから、大した事はないだろう。』と軽い気持ちで決めてしま

たのですが、(またまた失礼致しました……)ところがどっこい!!本格的でした。

素人さんをプロの歌手にさせてくれるものでした。(あー気分は最高!!)これも、この日の為に汗水流して大会を運営して来られた

役員の皆様方のお陰です。お忙しい中、ご苦勞様でした。たっぷりと楽しめまし

〈この記事は特別の事情によって掲載したものである〉
お詫びについて 福島 光三郎

平成六年四月、下市田史談会により発刊の萩山のさと文集に、私が寄稿した宝刀のゆくえその(一)(文中真相を知っているのは片桐氏以外にない)、またその(二)唯一人の関係者が問題の鍵を握っている、そのまゝとて(片桐氏を置いて他にない)と述べた各文章が、片桐氏の忌諱に触れ、名譽毀損といふことで、平成六年十二月十四日付で裁判所飯田支部に訴えられました。よって私としまして、西澤仁志弁護士に一切を委任して応訴の態勢を整え片桐氏の弁護士は川島一慶氏、本年正月より十月迄、有力な有志の方々の後援を受け、公判を強力に維持して来ました。

去る十月十二日の第七回公判で、私の一時間余の口頭陳述のあと佐藤裁判長より、調停による和解の話がありました。示された謝罪文の案文も意外でしたし、文の中に意に添わぬ箇所もありましたが、結局和解に応じついに結審となりました。尚和解条項は次の通りであります。

一、被告は原告に対し、平成七年十二月末日までの間に発行予定の下市田区報「萩の郷」に、別紙謝罪文を一回掲載する。

二、原告は慰謝料五百万円と、それに対する遅延損害金の請求を放棄する。

三、原告と被告は、本和解条項に定めるほか本件に關し、他に債権債務のないことを確認する。

四、起訴費用は、各自の負担とする。

謝罪文

私が執筆し、平成六年四月発行の「萩山のさと 第二集」(高森町下市田史談会発行)に掲載されました「宝刀のゆくえ(その一)」

「宝刀のゆくえ(その二)」

「宝刀についてのまとめ」と題する三本の原稿におきまして、私は、貴殿を萩山神社の宝刀「長船長光」の窃盗ないしは横領犯人である旨指摘し、貴殿の名譽を毀損し、貴殿に多大の御迷惑をお掛けいたしました。誠に申し訳ございませんでした。右は、確たる証拠に基づくものではなかった、

下市田区

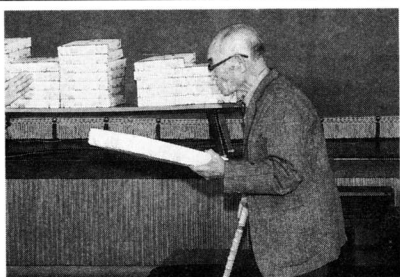
敬老会・文化祭り

惣兵衛堤防決壊の日

五区 小川 光男

六月二十九日夜中の午前二時頃堤防総代長の松島氏と私と二人で堤防上流のパ

とロールに出かけた。明神橋の上下堤防にかがり火の灯が一行に灯されてこれが北端まで続いていてその下に、竹蛇籠を引き延べてむしろをかけて堤越えの天竜の波を防いでいる。これは、出砂原の人たちの作業でボロのまりは婦人達の作ったものであるとのこと。この様子を見て松島宅へ帰り、



記念品を受ける小川光男さん

むしろにくるまって、一眠りした。少したつと突然早鐘が鳴りだした。飛び起きたがまだ薄暗い。続いて出砂原の鐘も鳴り出した。これは金部の松島伝一さんが総点検に行ったところ堤防上に大きいキレツが走っているのを見て驚いて消防に急を伝えたのだ。消防隊一般の人々が太川除へ続々と集まって来た。水天宮前の決壊箇所へ堤防小屋近くに積んであった玉石を、五、六十人の人たちの手ぐりで蛇籠へ投入する一団、一方堤防上の立木は切り運んで木流しをする組、一隊は松島家の西の庭木柿の木を、更に別動隊は西の鎌倉・倉沢両家の庭木柿の木を切り運んでいる。一方下田の藪を切って凡そ百人余の（これは婦人部隊で）藪より防災現場まで延々と長い道中、田の畦を回りく

ねって続いている。残っていた一本の桜を切る事になり私達十人程で八番線十本を土手の切株にくくりつけ鋸を入れ、皆で声を揃えて一、二、三で川中へ押し倒したところ、ビビーンと物凄いい音と共に鉄線が切れて

文化祭に出展して

二区 上 沼 美保子

「平成七年度下市田区文化祭り」は、天候にも恵まれて盛大に行われました。関係の皆様方、大変に御苦勞様でございました。今年には「展示、舞台発表種目の案内」のパンフレットを作成して下さったので、各クラブ活動の様子も解り大変良かったと思います。今年度は、私達龍生派活花の二グループが、出展当番と言うことで参加させて頂きました。土屋先生のご指導のもとに、皆が同じ花材にならない様に、又身近にある季節感あふれるものをと、打合せをしました。活花を始めて、長い方は二十有余年、私達短い者でも十四、五年と歳月を重ねても、華道展、クラブ発表の出展には、少々緊張致します。

激流に押し流されてしまった。防災資材も底をつき、天竜の荒波に決壊口も巾広くなって危険を感じて全員退避の指令がとんだ四時半、西の丘へ一同三百人の人たちが集まった。



出展のお仲間

終了の時刻が予定より早かったので、慌てて撤花してしまつた所へ、「あれー見せてもらいたかつたんだにー」と、何人かの声が聞かれ、何だかすまない気持ちになりました。普段は公民館を遠い存在のように思っておりましてが、懐かしい方々にもお逢い出来たりして楽しい一時を過ごすことが出来ました。

ことを認め、右三本の原稿の内容はすべて取り消すとともに、ここに謹んで謝罪いたします。
高森町下市田一二七三番地
福 島 光三郎
高森町下市田二九三五番地
片桐元一殿
平成七年十月十二日

文化祭・老敬会を振り返って

教養部

今年も幸い二日間共、良候に恵まれて、敬老会に出席されたお年寄りの皆様、文化祭に参加された区民の皆様の足場の心配も無く、十分楽しんでいただきました。

展示作品は二十三団体、舞台発表は十四組十七種目が日頃の研修の成果を発表致しました。会場

の狭さや設備の貧弱さなどを感じさせない、参加団体の皆様の気迫あふれる発表や作品ばかりでした。

お楽しみ大会は、ファミリーウォーキングとして、下市田旧道一周を計画致しましたが、PR不足もあり参加者が少なく来年度の課題となりました。

来年には新しい



発表の風景

ふれあいを求めて

一区 福澤康吉

十戸を数え
人口におい
ては一千四
百人、常会

一区は皆様御承知の様に、上段下段と別れていて、昭和三十年中程迄は殆んどが農家で八十数戸位しか無く、特に上段地帯は今では想像もつかぬ位の過疎地帯でした。特に小学校や中学校の近くには家は一軒も無かつたと記憶して

います。三十九と町内一の大きな部を形成しています。今でも数戸ずつ新築して加入されて益々増加の一途をたどっています。生活センターを建てた時に、地主で有り又大先達でも有った寺沢源治さんから贈られた積善和合の扁額が有りますが、これは易経と云う経文の一節だそうですが、昔一区部落では積善会と云って共同作業等をこの名で行っていたと記憶して



一区ふれあい広場

たようです。「一区ふれあい広場」はこの精神を生かして毎年十月十日に行つて

おります。町に運動会のある年には午前中に軽運動と称して、スローピッチソフトボール、ミニソフトバレーボール、グランドゴルフ等をして楽しみます。部落中ごちゃまぜで行うのも又楽しいものです。午後は南小体育館で芸能祭を行い日頃の練習を積んだ芸を、又常会で、又チームでと出し物を工夫し時間割等組む係、酒肴を調達する係と、常会長・分館主事・公民館の各係が一生懸命になってやってくれました。今年は約六百人人位の参加でした。

地域の紹介

変貌する二区への期待

二区 蜂谷睦雄

若さと実行を誇る共星会他、各種のグループ、地域環境美化に老体をも省りみず精進してくださる老人クラブ、更に一人一人の地味な協力に支えられ二区の今日がある。

良き地域性に、改めて他区に劣らぬ二区の良さを感じている現在です。こんな二区にも、今大きな変化が見られようとしている。

「俺がついているから」・「頑張れよ」・「御苦労さんだなむ」・「大変だなむ」。批判は勿論あるは承知。だが、多くの陰の協力の声と

「俺がついているから」・「頑張れよ」・「御苦労さんだなむ」・「大変だなむ」。批判は勿論あるは承知。だが、多くの陰の協力の声と

同様、当時伊那の中心的存在の認識を此の地に見る思い。二つには、下市田河原穀倉地帯の南端から惣兵衛堤防北端に向かって、やがて新設される「土地総」に依る広域農道の実現構想。完成したその道路から見上げる「下二会館」の威風は、自然環境と相まって人々の目と心を奪う事でしょう。此の二つの出来事を中心に周辺環境は勿論、二区全体も近い将来大きく変貌する事でしょう。願いはそんな中にある



遺跡発掘現場 (常垣外)

も、土と緑と従前の人の和は、心して守っていききたいもの。

平成7年度 下市田区一般会計前半期決算報告書

(自平成7年4月1日～至平成7年9月30日)

既収入金計 18,251,187円
既支出金計 14,680,320円
差引残高 3,570,867円

Ⅰ. 【収入金の部】

項 目	予 算 額	既収入額	予算残額
1. 区 費	15,580,000	8,022,900	7,557,100
2. 繰 入 金	4,400,000	0	4,440,000
3. 町 支 出 金	8,000,000	3,891,327	4,108,673
4. 財 産 収 入	1,440,000	204,570	1,235,430
5. 寄 付 金	1,150,000	831,755	318,245
6. 消 防 義 務 金	2,400,000	2,370,000	30,000
7. 諸 収 入 金	2,800,000	363,694	2,436,306
8. 前 期 繰 越 金	3,500,000	2,566,941	933,059
収入合計	39,270,000	18,251,187	21,018,813

Ⅱ. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予 算 額	既支出額	予算残額
1. 総 務 費	11,738,000	4,576,676	7,161,324
2. 厚 生 費	992,000	344,300	647,700
3. 林 務 費	981,000	685,332	295,668
4. 土 木 費	11,718,000	2,017,194	9,700,806
5. 水 利 費	5,512,000	3,059,481	2,452,519
6. 消 防 費	3,015,000	2,030,395	984,605
7. 公 民 館 費	3,010,000	1,500,000	1,510,000
8. 予 備 費	2,304,000	466,942	1,837,058
支出合計	39,270,000	14,680,320	24,589,680

和のある下市田へ

6区 片桐憲子

日増しに寒くなってきました。下市田の皆さん今日は。豊丘村から高森町へお世話になって参りました。



まず第一に感じた事は中段地帯、上段地帯、共に道路や公共施設等すべての面において、開けているとい

うか、進んでいるとい人か、ほとんどの事、厳守であるという事。女性参加者の多いのにも驚きました。この間は文化祭りをかせて頂きました。書道・絵画・手芸等、数多くの作品、皆さんの幅広い趣味、すばらしい作品に、心を打たれました。道路端に花の多い事、町ぐるみの花一杯運動に、地域ぐるみで協力しているのにも気が付きます。

ようこそ下市田へ

う事を感しました。それに

文化人の多い事。二番目に

花を眺めていると心にゆとりが出来何となくくせく動く自分が恥ずかしいそんな気持ちになります。あの灯ろう流し、夜空に開く花火、高森町の輪「和」であり、出砂原の輪「和」であり、家庭の輪「和」でありたいと思います。

思いのまま

5区 中平久敏

下市田へお世話様になって三年余が過ぎようとしています。今回「ようこそ下市田へ」と言う事で何か書いてほしいと言う事ですので、思いのままを書いてみたいと思います。

農家の方々は、野菜の植付け、果樹の作業など多忙の真盛りでした。農作業の手を休めて話して下さった、その時のおばあさんの姿を今思い出しています。掘り立ての大きな大根、又採れたての桃など頂戴し、最初から近所の方々に親切にして戴き、会話が出来ました事を心嬉しく思いました。

先頃行われた町民運動会は、大変面白く、愉快な応援合戦で本当に楽しませていただきました。又部落独自のコミュニティ運動行事は、普段接



も同じき一年が終ろうとしていますが、四季折々の風景が沢山ある下市田は、住み良く気に入っています。

平成7年度 下市田公民館中間決算報告書

(自平成7年4月1日～至平成7年9月30日)

既収入額 2,500,209円
既支出額 2,017,064円
残高 483,145円

Ⅰ 収入の部

科目	予算額	既収入額
1 繰越金	131,000	168,824
2 繰入金	3,010,000	1,500,000
3 補助金	900,000	831,000
4 雑収入	1,000	385
合計	4,042,000	2,500,209

Ⅱ 支出の部

(単位 円)

科目	予算額	既支出額
1 総務費	1,870,000	916,166
2 教養部費	1,154,000	584,615
3 体育部費	553,000	235,353
4 視聴覚部費	278,000	165,048
5 図書部費	107,000	82,266
6 予備費	80,000	33,616
合計	4,042,000	2,017,064

記録ビデオテープを
観てみませんか

視聴覚部では、ここ数年前からビデオテープにて下市田萩山神社の春祭り、カラオケ大会、敬老会、文化祭り等を収録しています。収録したテープは編集し、何時でも区民の方々に観て頂くように公民館の図

視聴覚部

随想



年末に思うこと

一区 北島 直江



空が青く澄んで絹雲が東へ東へ走る頃になると、残り柿も程良く熟れて早朝から百舌や椋鳥が啄みに来る。冬の到来である。今年も一月余りで終わる。

戦後五十年節目の年は、阪神大震災、オウム真理教事件等、終生忘れることの出来ない事が相次いで起こり、改めて平穩に暮らしている自分の生活を見直し、考えさせられる年だった。その一つに家族や親類、近隣の顔見知りの人の為ではなく、全く知らない遠い人―震災地の人の為に私は何をすれば良いのか何が出るのかという事である。早

速、町の対策に依って義援金や生活必需物資が集められ、お見舞いバスも仕立てられた。各自の属する団体や勤務先でもいろいろな形で参加する事が出来た。私も関わる友の会員(全国婦人之友愛読者会)として公共費という形で寄付したり震災地に働く人達が一日も早く立ち直る事を祈って送る為の「働き着」を縫った。各地の特産物や保存食を送る時飯田では赤い小梅の塩漬けや砂糖漬を託し、食器や鍋類も直ぐ使える様に送った。八月末には座布団を作った。一人では一枚とか僅かな物でも協力すれば多くの事が出来る。物も心も復興には十年かかると言われる。継続が鍵である。

心を震憾させる社会事象にも目を開き自分を見つめ人を思う事が、真の平和につながることもかもしれない。

粘土をこねて

6区 唐 沢 やす子



前列右はし唐沢さん

今月のテーマ「陶芸にチャレンジ」というチラシが当番職員から配られた。家業の会計事務所では、毎月各課で計画された、事務、商法改正などの研修会を行っている。今回は、ぐっとリラックスして、土をこねようというのだ。

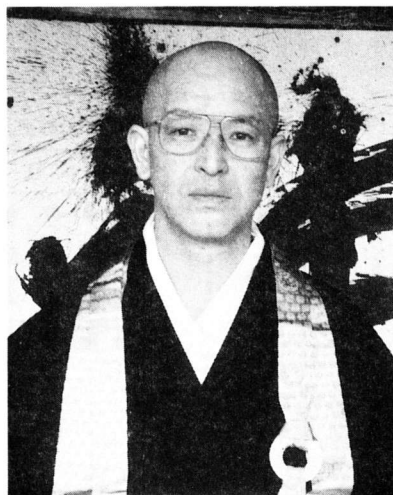
長以下それぞれ緊張した面持ちで八百グラムの粘土に向かった。私は、牛乳用のマグカップに挑戦しようと、あれこれイメージしながら土をこねた。作っては潰し、作っては潰し…と、楽しさが、少々憂鬱に変わりはじめ、周囲の人の行動が気になった。以前に経験のあるらしい人は、家から副材を持ってきた、花入れを作っている。部下に製作を手伝わせる人、小鉢の縁どりに余念のない人 etc.:

「本日の一等賞」と私の心に映った作品は、大きな角皿で、表面にはシンプルな模様が描かれている。さらにその大皿の縁は、変則的に波打たせてもある代物だ。二時間程で何とか形ができて上がり、みんな和やかな顔になった。私は不器用な自分にあきれながらも、普段の職場では見られないさまたまな顔を発見して満ち足りていた。

●●● 軽い禅話 ●●●

「酒・女・金」

三区 松岡 泉岳



ある人が来山して、授戒を願いたいという。本来生前の授戒だからいいのだが、参考になりそうなことを聞くと

「酒が好きだから酒という字を入れた」という。酒という字は戒名には使えぬがそれなりに考えるのである。ある者は「俺の好きなものは、酒と女と賭け事だ」思わず、何／＼上には上が

いるもの、悪いことに一パイ呑んでの来山であるが真剣だ。これは厄介なことになった、型通りの説明では通じない。

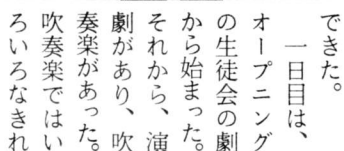
出典は定かでないが、こんな一条を思い出す「(楽しみはうしろに柱、前に酒、両手に女、ふところに金)まさにこの如くの人生だろう。あんたはこれで生きていい、あわてない。」

小六杉本大輔(五区)

ついに横浜に行く日になりました。早く着けばいいなと思いつながらバスに乗りバスの中では、弟とゲームをして遊びました。お兄さ

中一 福島 貴浩 (二区)

間楽しい時間を持つことが



なあと思いました。今度は、弟と二人だけで帰るので、少し心配になりました。

バスに乗ってからも、すぐきんちゃんしていました。おじさんもおばさんも心配そうに見ていました。

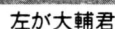
高森のバス停に、近づいていました。この頃には、弟に「高森、もう過ぎちゃったよ。」とおどかさくらしい、

小中学

いな曲を聞いた。その後、ディベートがあって、自主活動になった。

自主活動は、運動会をした。僕は、うまとびと、つなひきをした。僕達のクラスは、全員ががんばったので、全校で一位になることができた。とても、うれしかった。

二日目は、音楽会だった。家の人達の前で歌うのは、初めてなので、とてもきんちゃんした。でも、僕は、



小中学生の作文

ちようしていました。おじさんもおばさんもち配そうに見ていました。

高森のバス停に、近づいていました。この頃には、弟に「高森、もう過ぎちゃったよ。」とおどかさくらしい、

よゆうが出て来ていました。高森で降りると、お母さんが迎えに来てくれていました。ほっとして、今度は、一人でも行ってみようと思いました。小学校最後の、いい思い出になりました。

いな曲を聞いた。その後、精一杯歌えた。

ディベートがあって、自主活動になった。自主活動は、運動会をした。二年生、三年生になると声もよく出ていてさすがだと思った。

た。僕は「うまとびと、つなひきをした。僕達のクラスは、全員ががんばったので、全校で一位になること

僕達のクラスは、銀賞だった。来年は、もっと上手に歌えるようにしたいと思う。

ができた。とても、うれしかった。
 二日目は、音楽会だった。家の人達の前で歌うのは、初めてなので、とてもきんちょうした。でも、僕は、
 そして、エンディングになった。エンディングも又、劇があった。これで文化祭も終わりなんだと思った。とてもいい、小原ヶ丘祭だった。

小三 林奈津美(四区)

わたしは、この秋、しばらく高原へ、こうようを見に、おじいちゃんと、お母さんの三人で行って来ました。

一まいの葉でも、いろいろな色がまざりあっていました。また、一つのえだによつても、色がちがいました。こんなふしぎで、きれい

くねくねとした坂道を、
 どんどん登って行くと、こ
 じめてでびっくりしてしま
 うような色がこくなってい
 きました。

き、矢はずトンネルまで来ると、赤、きみどり、黄色など、あたり一面をまっていた。もっと、こうようが見たかったので、矢はずトンネルは通らず、赤石しらびそ高原では、もうこうようが終わっていて、こうようは見れなかったけれど、すぐ目の前の山には初雪があり、とってもきれいでした。

林道を登って行くことにして、きれいに見えたり、美

山と山が重なりあつて、大きく波に見えた感動的でした。

り、遠くの方を見ると、全体にいろいろな花が植えてあるように見えました。

もみじの木をよく見ると、



思いました。

グループ紹介

パピペポピンズ

白河 福美

グループ紹介の原稿を書いたのですが…。

まず始めにグループの名前ですが、パピペポピンズと言います。長い名前ですが、楽しい名前です。「あ、それいい、それでいいよ」とさっそく決まりました。名前の如くパピペポピンズと、ボールがはずみまわります。水曜日の夜、七時半から、困っていてもしかたがない、細字を出品し、級から段へと挑戦しています。

ルが、あさっての方にとんでいきます。だから、人もあさっての方にとんでいて、みんなで、大笑いになります。(笑いすぎて、顔のしわが、気になり出している今日この頃です。)からだ全体を動かすのが基本のソフトミニバレーボールですが、私達の場合、腹の筋肉だけを鍛えています。ですから、私以外の人は、みんな腹が出ていません。格好いいですよ。



明くる、楽しくモットーの私達ですが、これからは、からだ全体を使って、健康維持に、心掛けたと思います。

心筆会 北原 節子

平成元年六月伊那市の、伊藤環雪先生の帯月書道会高森教室として、スタートしました。ところが、伊藤先生が書の更なる研鑽の為に中国に渡られましたので、その後、安江雪城先生の、心筆書道会の名の元に、毎月三回火曜日に、教室を開いております。月一回は、富士吉田市の渡辺寒鴎先生主宰の書真会に、楷書、か



出品については、個人の自由です。又その人の希望により、中央への道も開かれています。書については、書真会展を東京の銀座ギャラリーで、又、国際架橋書展を岡山で、諏訪大社競書展を長野で行なっております。又刻字部は、あくまでも先人の臨書

門も有り、希望者は毎日書道展(東京)、日本刻字展(東京)、長野県書道展(長野)等へ、出品しております。会員は現在八名で、その内二名が小学生です。その他二名程休んでいます。さて心筆会は、希望者をつのり、毎年中国へ漢詩を見に出かけます。平成五年には九日間重慶、武漢、上海をたずねました。客船で宿泊し、揚子江を下ったり、ダムになってしまおうと云う三峽下りを楽しんで来ました。



「萩の郷」の使命とは何ぞや? その使命達成のために、編集は如何にあるべきか? 折にふれて考えることが必要だと思う。

編集後記

西の山に日が落ちて薄暗くなり始める。夏なら未だこれから一仕事という時刻である。正面の伊那山脈の紅葉が、赤い夕陽に映えて美しい。豊丘の家々と針葉樹の低い山々は日がかげっており、紅葉した山々だけが、青い空をバックにくっきりと浮き上って見える。十一月は、鬼面山を中心とした山脈が一番美しく見える時期である。

町の公民館報「たかもり」の論説の中の、「マンネリ化行事の消化型取組み」という言葉に胸をつかれた。我々の編集が、「みためを整えること」のみに追いついていないか」という疑問を持つ。原稿を集めそれを割り付ける。そのこと自体も大変なことであり、他人に解らない苦労もある。然しそれをうまくやるだけでは、体裁の整った「萩の郷」が出来上がるだけなのかとも思う。

下市田公民館（区民会館）改築についてのアンケート調査結果報告

平成7年12月1日
下市田公民館改築研究委員会

アンケートにご協力ありがとうございました。おかげさまで、近隣の公民館の視察、アンケートによる区民の声、改築研究委員会の研究等によって、区長に答申することができました。（区報参照）
今後、専門家の手によって区民の声が生かされた建築がなされることを期待してご報告と致します。

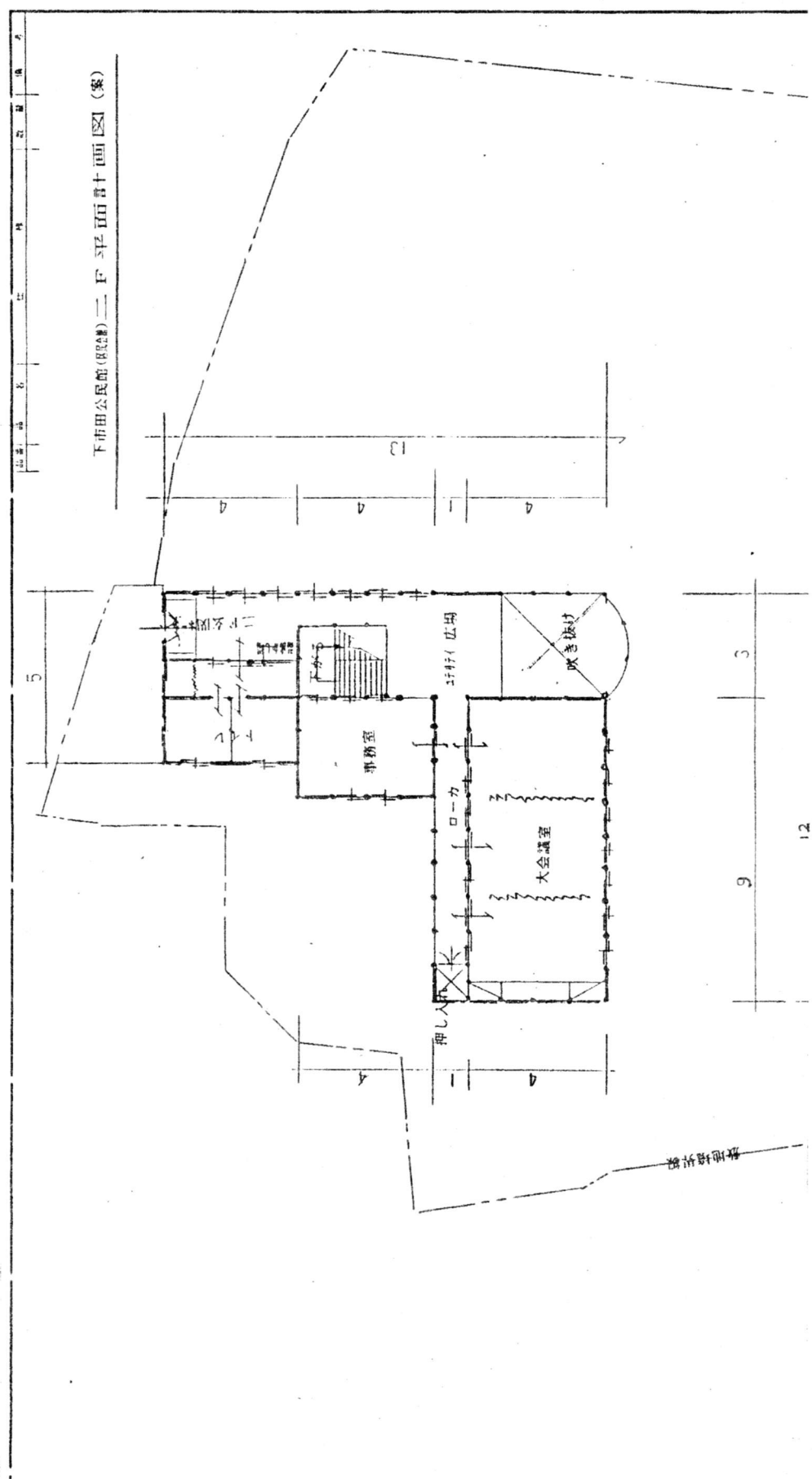
報告は、この他に、自由に記入された生のご意見を、隣組単位に回覧するのでご覧下さい。

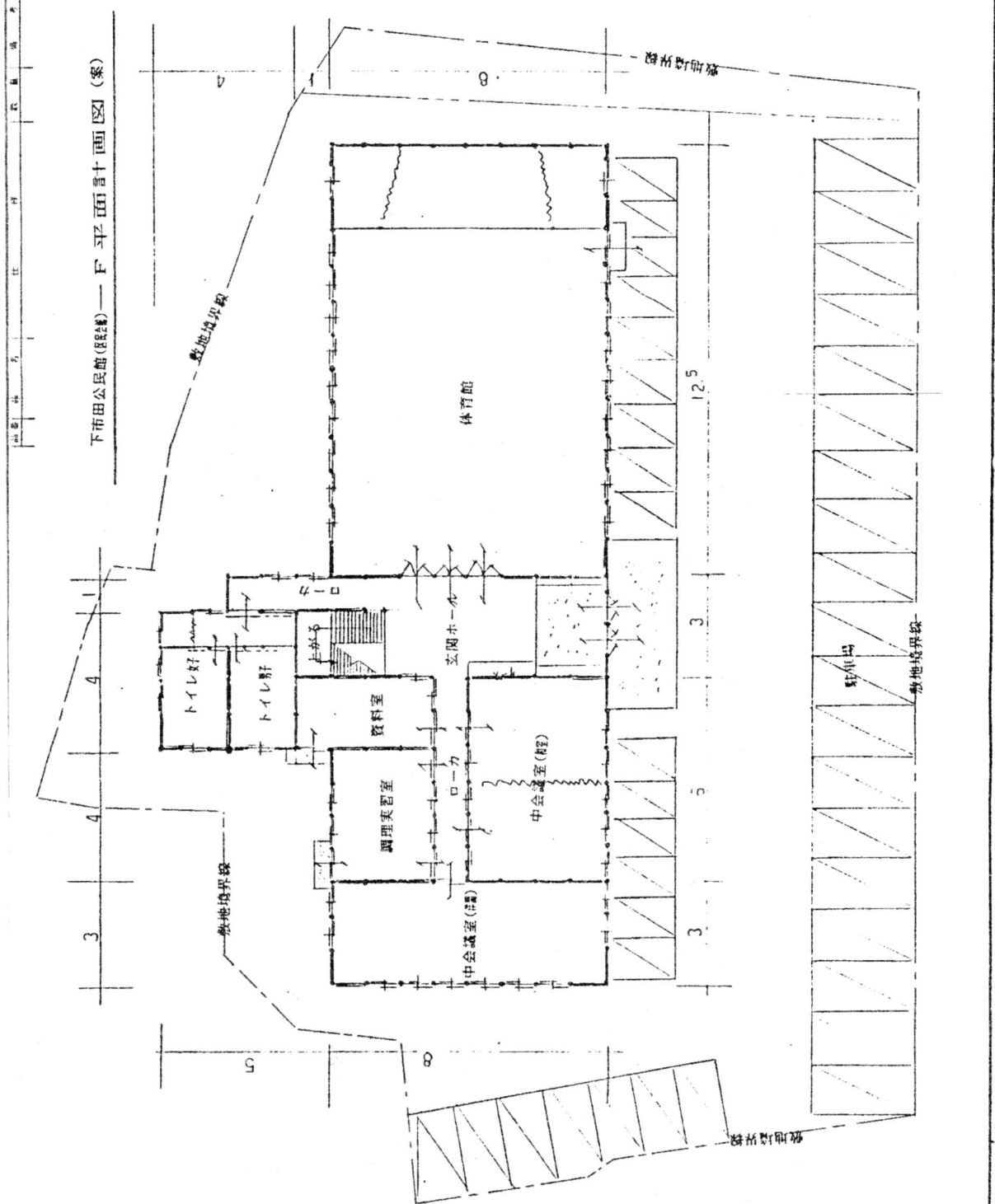
設問の要旨		回答数	設問の要旨		回答数
1 改築に当たり第一に考えることは			3 最重点に考えることを5つ		
イ	区民多数が集合できるステージつき講堂	376	イ	区民全員の集合・集会場所	524
ロ	スポーツが出来る程度できる大きさの体育館	211	ロ	地域活動の会議・委員会拠点	293
ハ	昼敷の大広間（行事や慰労会等に）	198	ハ	公民活動の中心会場	431
ニ	民謡・踊り・器楽等の稽古や発表の場所	116	ニ	健康・体育活動の施設会場	237
ホ	同好者の生涯学習室がほしい	151	ホ	高齢者集会・社会福祉会場	330
ヘ	子供用広間（童話本コーナーも）	164	ヘ	調理・手芸・婦人活動・児童活動会場	169
ト	学習会や講習実技研修等の部屋がほしい	135	ト	調理・研修・社会教育・講習会場	165
チ	集中できる専用会議室がほしい	152	チ	芸能保存民俗芸能研修・用具収納保存	246
リ	トイレ・洗面所・更衣室、老人・障がい者・妊婦が気軽に利用できる明るさ広さ	395	リ	休息・集会・懇親会場	236
ヌ	照明・冷暖房・内装・音響等の気配り	187	ヌ	その他（記入意見のため別記回覧）	
ル	和風の姿・外観がよい	210	4 個人負担無しでできる規模の計画		
ヲ	洋風の姿・外観がよい	136	記入意見のみ（別記回覧）		
ワ	駐車場の台数	下記表	5 役職体験や使用経験からの意見		
カ	災害時対応場所としての機能を	409	記入意見のみ（別記回覧）		
コ	その他（記入意見のため別記回覧）		6 公民館（区民会館）の存在意義の受けとめ		
2 せっかく建て替えるならば…			イ	現在以上の充実施設にすべき	377
イ	区の顔として見栄えのあるもの	146	ロ	現在の規模で十分	155
ロ	利用面から機能的に近代的に	313	ハ	その他（記入意見のため別記回覧）	
ハ	社会福祉等のため集まりやすい	328	7 建設費について		
ニ	使用目的に適合した建物を	162	イ	ある程度の個人負担でも悔いのないものを	293
ホ	現在の規模程度でよい	95	ロ	区財政の範囲内で我慢すべき	304
ヘ	災害時の避難救難場所への工夫	384	ハ	その他（記入意見のため別記回覧）	
ト	その他（記入意見のため別記回覧）		8 個人負担してもよい金額（7-1の四捨五入）		
アンケート回収率			イ	負担額 5,000円 程度	97
	1区 2区 3区 4区 5区 6区 全区合計		ロ	10,000円	146
世帯数	334 120 208 91 142 185 1080		ハ	20,000円	23
回収数	236 84 146 61 97 96 720		ニ	15,000円	57
%	71 70 70 67 68 51 67		ホ	30,000円	3

駐車場	台数	20	30	50	60	70	80	90	100	120	150	200	250	300	500
	回答	1	1	45	8	17	32	1	263	2	46	46	1	11	3

下市田公民館（区民会館）平面計画図（案）

この平面計画図は、改築研究委員会が、2月末発足以来、近隣の公民館視察をスタートに、改築に関わる研究を重ね、アンケートによる区民の要望も盛り込んで作成したものであります。この案は、今後更に成案に向けて専門家と建築委員会の手によって検討されて建築の運びとなります。図面になると規模や内容など分かりやすいかと思うので更に要望等があったら建築委員までお申し出下さい。（建築委員は、各部落の区代議員もなっています。）





下市田公民館(88.8.8) — F 平面図 (案)

- 一F
- イ. 体育館 8×12.5=100
 - ロ. 調理実習室 3×4 =12
 - ハ. 中会議室(8F)4×6 =24
 - ニ. 中会議室(8F)3×8 =24
 - ホ. 資料室 2×4 =8
 - ヘ. 玄関ホール 3×6.5=19.5
 - ト. ローカー 1×6 =6
 - チ. トイレ 4×4 =16
 - リ. ローカー 1×4.5 =4.5
 - ヌ. 階段 2×2.5 =5
 - 小計 219坪
- 二F
- イ. 大会議室 4×9 =36
 - ロ. 事務室 3×4 =12
 - ハ. エントランス広場 3×3.5=10.5
 - ニ. 二F玄関ホ-ル 2×4 =8
 - ホ. トイレ 3×4 =12
 - ヘ. 階段 2×2.5 =5
 - ト. ローカー 1×8 =8
 - チ. 押し入れ 1×1 =1
 - 小計 92.5坪
 - 総計 311.5坪

駐車場数予定 40台